

科目名	コマース研究ゼミナール	科目コード	1212	単位数	2
担当者名	澤内 大輔	開講セメスター	第7セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

●授業のねらい

本講義では、北海道産農産物・食品の輸出をテーマに、ゼミでの議論やそのための準備を通じ、自ら課題を発見し解決する能力を身に着けることを目標とします。
 4年次前期に開講するコマース研究ゼミナールⅣでは、卒業論文を念頭に置き、研究課題を設定するための方法を学びます。北海道産農産物・食品輸出の現状を統計データを用いて示すとともに、文献調査やヒアリングなどから輸出拡大のための具体的な課題を明らかにすることを目標とします。

●到達目標

学生が、北海道産農産物・食品輸出の現状を統計データを用いて示すことができる。
 学生が、文献調査やヒアリング調査により北海道産農産物・食品輸出の輸出拡大のための具体的な課題を明らかにすることができる。
 学生が、研究課題を設定する方法を理解し、指導教員との協議に基づき、卒業論文の課題（案）を提示できる。

●授業内容

1週目 ガイダンス：班分け、ゼミの進め方
 2週目 北海道産農産物輸出の現状：課題の設定
 3週目 北海道産農産物輸出の現状：統計データの収集
 4週目 北海道産農産物輸出の現状：報告資料の作成
 5週目 各班の報告
 6週目 各班の研究テーマの設定
 7週目 各班の研究テーマに沿った既存研究の収集
 8週目 各班の研究テーマに沿った統計データの収集
 9週目 各班の中間報告
 10週目 中間報告を受けて研究テーマの見直し
 11週目 報告資料のとりまとめ
 12週目 報告資料のとりまとめ
 13週目 報告練習
 14週目 各班の報告（１）
 15週目 各班の報告（２）
 16週目 まとめと補足

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：班員と協力し報告用のレジメを作成すること。（所要時間：1.5時間）
 復習：ゼミでの議論を振り返り、改善点を取りまとめること。（所要時間：1時間）

●成績評価の方法・基準

ゼミへの積極的な参加態度（50％）、ゼミでの報告内容（50％）をもとに評価します。

●履修上の留意点

成績評価は、11週以上ゼミナールに出席した学生を対象とする。
 Word、Excelを用いた演習を行うので、基本的な利用方法を理解しておくこと。

●課題に対するフィードバックの方法

ゼミ時に、個別および全体に対して適宜フィードバックを行う。レポートや報告資料については個別にフィードバックする。

●テキスト

講義内で適宜指示します。

●参考書

講義内で適宜指示します。

●更新日付

2022/03/02 10:25